

サーキット・ライダー2007年 4月号

復活祭を迎えて

安息日が終わると、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、イエスに油を塗りに行くために香料を買った。そして、週の初めの日の朝ごく早く、日が出るとすぐ墓に行った。・・・若者は言った。「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なさって、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。『あの方は、あなたがたより先にガラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる。』と。」婦人たちは墓を出て逃げ去った。震え上がり、正気を失っていた。そして、だれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。 マルコ16：1－8.

毎年この時期日本からのニュースは桜の開花予想です。「桜はいつ開花する」とか「満開はいつ頃」とか。以前は全く桜のニュースなど気にも留めませんでした。アメリカに来て27年ともなり年を重ねるごとに日本のそのようなのかなニュースに心穏やかになり嬉しくなります。友人たちから「どこどこで夜桜（正しくは酒宴）を楽しんだ。」などと一報があると、羨ましくなり自分も友とのんびり夜桜に興じ、人生を語りたいたいなどと思ってしまう。人の人生は昔は50年と言われ、平均寿命が延びた今日でも100年を迎える人はそう多くはありません。一方、最近植えられた桜は別として、桜は人よりも長寿です。銀杏や杉やある種の木々は更に長寿で、世の変転を間近に見てきたことでしょう。生物ではありませんが岩の固まりであるマンハッタンをはじめ、アメリカ東部ハドソン川近辺の岩石や河原の石に至っては何億年も存在しています。人の世は移り変わる。人は生まれ逝きますが、自然は悠久の昔から生の営みを繰り返して、世の移り変わりを見てきました。

さて岩ということで思い起こすのはイエスの墓です。古代イスラエルの墓は岩に穴を掘って大きな石で蓋をしたものでした。現在、その信憑性はともかく、エルサレムに聖墳墓教会と言ってイエスの墓と言われる岩の周りに礼拝堂、教会を立てて記念している教会があります。私はまだイスラエルには行ったことがありませんが、いつの日かイスラエルとパレスチナが真に平和調停を結び、戦が無くなったらこの教会に是非行って見たいと思っています。テレビの特集で見た限りですが、聖書にあるようにイエスの墓は堅い岩をくり貫いた穴でした。その岩は勿論、億という年月を重ねているわけですから、もし岩に心、記憶があるなら、イエスが埋葬された日のことも復活の日のことも、婦人たちが空になった墓で、若者から伝言を伝えられ、驚き恐れ、逃げ帰ったことも覚えていることでしょう。岩が語れないのが残念です。

逃げ帰った婦人たちは、マルコによる福音書では「震え上がり、正気を失っていた。そして、だれにも何も言わなかった。」とあります（8節）。聖書は実に正直な書物です。今日流に考えるなら、聖書の作者は「イエスの墓が空っぽになった。」「復活があった。」と大々的に書きたて宣伝効果を狙えばよいものを、婦人たちが「理解を超えた出来事に、畏怖の念を起し、そのまま逃げ帰って黙っていた。」ことをオリジナル・マルコの終わりにしているのですから。本来のマルコによる福音書は8節で終わっています。その後の部分は後世の補足です。恐らく婦人たちが正気を取り戻すまでにはしばらく時間がかかり、その後落ち着いてから弟子達に伝えたか、彼女達の変な様子に気付いた弟子達がかなり時間が経ってから空の墓を確認したか、いずれにしても「その後」のことはマルコは書いていません。言わばマルコはオープン・エンディング（帰結のない、読者の判断にゆだねる終わり）にしています。それは読者である私達に「あなたはどう思うか?」「復活を信じるか?」と問うているわけです。

復活を科学で論じたり、人間の知識（非常に限られた）で語っても何も意味がありません。復活はキリスト教信仰の中心であり、信じるか信じないか、私たちの信仰が問われます。パウロは言いました。「キリストが復活しなかったのなら、わたしたちの宣教は無駄であるし、あなたがたの信仰も無駄です。・・・しかし、実際、キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂とされました。」（1コリント15：14－20。）イエスを慕った婦人達、弟子達、そして更にはキリスト教の迫害者だったパウロにまで復活のイエスは現れ、彼らはそれを証しました。それらの聖徒は皆眠りに付きましたが、イスラエルのあちこちに在る岩は彼らの働きを、迫害を受けた日々を、そして殉教してキリストの栄光を称えたことを見えています。語る事のない岩にイエスの復活を思い見るのも楽しい一時です。吉松 純

礼拝、J r. 教会（日曜学校）は毎日曜日午後4時です。

祈られたい方の為にチャペルを午後3時30分より開放しています。どうぞご利用ください。

4月 1日：自由祈禱会、棕櫚の聖日礼拝：聖餐式、J r. 教会：棕櫚で工作

8日：自由祈禱会、復活祭礼拝、J r. 教会：イースターエッグ色付け、エッグハント。礼拝後持ち寄りで祝会

15日：自由祈禱会、礼拝、J r. 教会：お話し会

22日：自由祈禱会、礼拝、J r. 教会：復活後の弟子たち、春の遊び

29日：自由祈禱会、礼拝、J r. 教会：庭仕事

5月 6日：自由祈禱会、礼拝：聖餐式、J r. 教会：子どもの日、日本の遊び

行事予定と報告

* 5日（木）午後7時30分より、ウエストウッド合同メソジスト教会で洗足の木曜日礼拝（英語）。

* 6日（金）午後6時より、最後の晚餐と礼拝（英語）。イエス様が食べた過ぎ越しの食事を頂き礼拝を守ります。どうぞご参加下さい。

* 19日（木）午前10時からフォートリーバタニア合同メソジスト教会で聖研（予定）。

* 20日（金）午前10時30分より牧師館にて聖書の学び。マルコによる福音書。佐藤彰牧師の本を使つての学び。

*毎週火曜日午前10時より教会カウンセリング・ルームにてアメリカ人の婦人会メンバーと聖書研究会（英語）があります。英語を学びたい方、聖書に興味ある方は是非ご参加下さい。

* 4月22日（日）から洗礼準備勉強会が礼拝前の午後3時より始まります（予定）。洗礼を受ける決心をしたかた、またまだ迷っている方、何も分からない方、皆歓迎します。

お知らせ：

* 5月25日（金）午後7時より教会で、一昨年パークリッジでリサイタルをされた岩永善信氏を再びお迎えしてクラシック・ギター・リサイタルがあります。今回は6月にカーネギーホールでデビュー、その感謝を込めてパークリッジで演奏して下さい。今から予定をお立て下さい。

*今年の夏も小学生を対象としたサマーキャンプをします。その案内ができました。ご近所で小学生のお子さんがいらっしゃる方には是非お勧め下さい。

御協力お願い致します。献金のあて先は UMC-JA とし、寄付のあて先を Note に記して下さい。

*ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。

*消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（J O C S）に送ります。J O C S 海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

*ケニヤの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。

*パターソンの S t. P h i l i p 伝道と社会福祉団体 C U M A C / E C H O の為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

連絡先：英語オフィス(201) 391-5499 日本語オフィス兼ファックス (201) 505-0347

吉松牧師 (201) 391-2208 pastor@umc-japan.org 代表役員：松尾孝恵姉 Takae17A@aol.com

教会学校担当：吉松 泉姉 izumi.yoshimatsu@gmail.com ホームページ：<http://umc-japan.org>

Happy Easter!